

The International Year of Planet Earth

# 国際惑星地球年

## 2007 - 2009

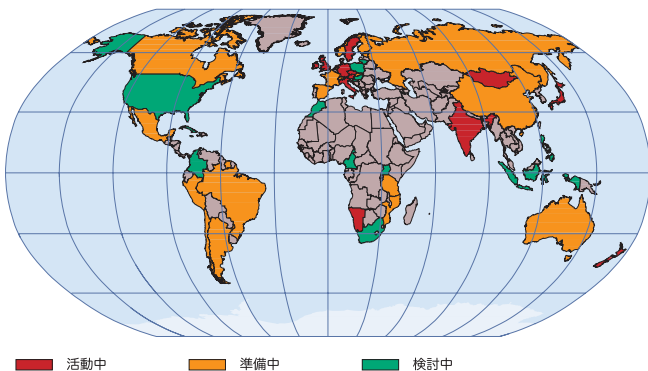
2004年12月26日、あの津波で23万人もの人々が命を落とし、今ようやくインド洋周辺で津波警報システムの導入が始まりました。私たち地球科学者は、地球についての知識を使うことで多くの命と暮らしを破壊から守ることができるはずなのにそれが十分に利用されていないことを憂えています。地球に関する知識をもっと上手に利用すべきだと世界が理解するまでに、いったいどれだけの尊い犠牲を必要としているのでしょうか？

## 国際惑星地球年を進めているのは？

40万人におよぶ世界の地球科学者が持っている知識をより多くより効果的に社会が使えるようにと、国連は2008年を国際惑星地球年と宣言しました。国際年のサブタイトル「社会のための地球科学」にはこうした期待が込められています。

この国際年は国際地質科学連合(IUGS)とユネスコが呼びかけたものです。国際年の設立には世界中の地学関係団体から12団体が加わり、また26団体が協賛しています。さらに、国際極年(IPY)や国際デジタル地球年(eGY)、国際太陽系観測年(IHY)など、関連分野の国際的活動とも積極的な協力関係を築いています。

国際年は、国連に加盟する191の国や地域からも全面的な支持を得ています。国際年を遂行する国内委員会も12ヶ国ですでに結成され、活動が始まっています。また、40を超える国で結成の準備がなされています。



## 国際惑星地球年はどのように行われるのでしょうか？

国際惑星地球年は科学プログラムとアウトリーチを二つの柱にして活動します。ともに重要な活動で、予算も同規模で計画されています。資金は世界中の企業や政府から募る予定です。

科学プログラムは社会に関わる分野横断的テーマとして取り組まれます。それは、健康、気候、地下水、

海洋、土壌、地球深部、巨大都市、災害、資源、生命の10テーマです。それぞれパンフレットが用意され、そこでは具体的課題が問われて、それに応える研究計画の提案を全世界の科学者に呼びかけています。パンフレットは国際惑星地球年のウェブサイトで見ることができます。

アウトリーチのパンフレットでは、地球科学が社会と深く関連していることを人々に気づいてもらうにはどうすればよいかが示され、科学プログラム同様、アウトリーチ活動への資金援助のため各方面からのボトムアップ的な提案を募集しています。(これはユネスコが非常に大きな成功を収めている国際地球科学計画(IGCP)の方法で、国際年はこれを全面的に手本としています)

科学プログラムあるいはアウトリーチ活動の提案募集などに興味がある方は、ぜひウェブサイトにアクセスして関心表明書(EoI)をご覧ください。

## 国際惑星地球年はいつから始まるのですか？

国連国際年は2008年ですが、資金援助と活動は2007年～2009年の3年間にわたって行われます。

## 国際惑星地球年にあなたの支援を

実りある国際惑星地球年に向けて、準備万端です。国際年を通じて、私たちが日々必要とするほとんどすべてを地球に頼っており、社会と経済を支えているのが地球にほかならないことを世界中の人々が深く理解するでしょう。国際年はまた、津波など地球がもたらす脅威に対するしっかりした理解を広め、さらにこの先、こうした脅威をより効果的に軽減するための知識を創る手助けにもなるでしょう。

詳しくは国際惑星地球年のウェブサイト

[www.yearofplanetearth.org](http://www.yearofplanetearth.org) まで

